

令和6年度 四国学生審判講習会 開催報告書

報告者：四国学生バスケットボール連盟審判部 木嶋智久

- 名 称 令和6年度 四国学生バスケットボール連盟主催 学生審判講習会
- 目 的 全国の学生審判員と交流を持つことで、互いに刺激を受けながら、様々な意見交換を実施する。実施形式は、3PO で担当し、ベーシックなメカニクスやプレイコーリングを身につけ、学生審判員の技術向上を図る。
- 開 催 日 令和6年 8月15日(木) 座学講習・実技講習
16日(金) 実技講習

講習会初日

時間帯	内容	備考
10:00～	実技講習	2会場にて開講
17:00～	堀内氏講義	テーマ「今のレフェリーに求められること」

講習会2日目

時間帯	内容	備考
10:00～	実技講習	
15:30～	閉講式	

開 催 場 所 伊予市市民体育館・松前公園体育館

参 加 者 学生審判員 18名

割 当 形 式 3PO

令和6年度 四国学生審判講習会 開催報告書

報告者：四国学生バスケットボール連盟審判部 木嶋智久

所感

四国としては、2回目。全国の学連員を募集しての開催は第1回目となる「学生審判講習会」を開催いたしました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

本講習会では、トップリーグを担当されているS級審判員。そして全国大会を担当されるA級審判員に、実技講習にてフィードバックを頂きました。さらに四国ブロック審判長・堀内氏には「トップリーグを担当する為に若手に求められる資質と意識」をテーマに講義を行なっていただき、実技講習へのアドバイスもいただくことができました。

実技講習につきましても、個々に応じたアドバイスを講師の方々からGame中だけでなく、ゲーム後にも映像を用いていただく事ができ、自分では気づく事ができないことに気づく事ができたと感じています。そして新たに、メカニクスについて知識や判定の捉え方などを学ぶことができたと感じています。

また、普段の審判員活動において上級審判員と吹く機会があまりないため、この講習会を通して、上級審判員と吹く機会の創出を行う事ができ、普段の審判活動では得る事ができない事を得る事ができました。

～座学講習の様子～



～実技講習の様子～



令和6年度 四国学生審判講習会 開催報告書

報告者：四国学生バスケットボール連盟審判部 木畠智久

受講者からの声

- ・プレカンで自分の目標を共有したり、目標に対して IR の方から具体的なアドバイスをいただけたりで、2日間通して自分の課題に向き合うことができ、良い経験になったように思う。
- ・上級の方と一緒に審判させていただくことで、試合中にもアドバイスいただけたりと挑戦することができたりもしたので、次に活かせるようにしていきたいと感じた。
- ・大学卒業後のことも考えている中で、審判として活躍されている方の実際のスケジュールを見せていただけたりと、メリットデメリットについても教えてくださったり、生の声が聞けてとても為になった講習会であった。少しではあったがグループディスカッションで他の学生審判の方ともお話できて良かったと思う。
- ・実際にトップリーグで活動している方から自分たちが知らないことを多く教えていただき、よりトップリーグにおける審判活動がどのようにあるのか明確に知ることができた。また、最後におっしゃった目標と気持ちを持つことが大事ということはこれからの審判活動で常に念頭に置いてスキルを向上させていきたいと思いました。